

令和7年度 学校評価アンケート 結果と考察

大項目	番号	内 容	保護者	教 員
1 にこにこ元気でじょうぶな子 (体育・保健、給食指導等)	1	給食指導	3.9	3.6
	2	健康に生活できる習慣づくり	3.8	3.6
	3	体力の向上	3.9	3.6
2 よく学びよく遊び自分でできる子 (日常生活の指導・教科別の指導・生活単 元学習等)	1	日常生活の指導	3.9	3.6
	2	生活単元学習(あそびや調理の学習等)	3.9	3.6
	3	ことば・かずの学習	3.8	3.4
	4	教科別の学習(音楽、図工、体育等)	3.8	3.6
	5	自立活動	3.8	3.5
	6	「できる状況」教材教具等	3.9	3.6
3 うれしさがんばりみとめあう子 (行事・交流・日頃の学校生活全般)	1	意欲的な活動	3.9	3.6
	2	互いのよさに気づく活動	3.7	3.4
	3	学び合い・関わり合い	3.8	3.5
4 教育計画に関して	1	個別の指導計画は学校教育で役に立つか	3.9	3.5
	2	個別の指導計画は取り組みやすい目標か	3.9	3.5
	3	個別の指導計画は適切に進められているか	3.9	3.5
	4	個別の指導計画は家庭での生活に役立っているか	3.7	3.1
5 学校の安全・開かれた学校に関して	1	信頼できる関係づくり	3.9	3.8
	2	学校だより、連絡帳	3.9	3.7
	3	個別面談	3.9	3.6
	4	保護者の要望の反映	3.8	3.5
	5	安全対策	3.8	3.8
	6	校舎内外の環境や掲示	3.8	3.7

1. 実施概要

対 象: 保護者(回答数98名/回収率81.6%)、教職員

全体総括: 保護者・教職員ともに「肯定的な評価」が高い傾向にあり、特に「生活面の指導」と「学校への安心感」において高い満足度が得られた。

2. 成果

○生活スキルの着実な定着(食育・排泄)

粘り強い指導により、「給食を完食できる日が増えた」「偏食が改善した」、「排泄が自立した(紙パンツが外れた)」という具体的な成長が見られた。

○「楽しい学校」の実現と保護者の安心感

児童が「学校に行きたい」「バスに乗りたい」と意欲的な姿が自由記述に見られた。

○指導の一貫性と動画活用の有効性

「目標と手立て」を明確にし、また保護者と共有したことで、指導や実態の共有を図ることができた。

3. 課題

○「学校ではできるが、家ではやらないことがある(環境の違い)」という事例が散見された。

○保護者は結果だけでなく、「どうすれば家でもできるか(指導のコツ)」といった情報に関心がある。

4. 令和8年度に向けた検討事項

○家庭との情報共有や連携

学校生活全般の様子やできた姿だけでなく、支援方法や関わり方に関する情報を提供する。また家庭生活を含めた情報共有する。